

家庭基礎 学習指導案 (2)ア・オ

- 1 題材名 「食べる」ことから考えよう！
～自分のからだと地球を守るために、高校生の私ができることは何だろうか～
- 2 指導内容 ・私たちの消費行動と日本の食料自給率との関係を知ろう。(1・2 / 6時間：本時)
・あなたの考えが地球を変える！～気付こう、変わろう、提唱しよう～
(3～4 / 6時間)
- 3 本時の目標 日本の食料自給率の現状と変遷および世界の食料事情との関連を理解させ、自分や家族の食生活のあり方について、振り返りながら考えさせる。
- 4 評価規準 ア 食事と健康とのかかわりに関心をもち、自分や家族の食生活を振り返りながら意欲的に学習活動に取り組んでいる。(関心・意欲・態度)
イ 日本の食料自給率と世界の食料事情の現状から、自分や家族の食生活について日常の食事と関連付けて具体的に考えることができる。(思考・判断)
ウ ハンガーマップを通して、世界の食料事情について理解している。(知識・理解)
- 5 本時の実際<2時間>

	生徒の学習活動	教師の指導内容	評価規準と方法
導入	1. 食べることと着ることの違いを考え、発表する。 2. DVD「いのちの食べかた」の一部を視聴し、食材が食卓にのぼるまでの過程を知る。	・「命は食にあり」という言葉を基に、食べものはすべて吸収され、心と身体を作ることを伝える。 ・視聴メモを使い、効果的な視聴をさせる。	規準ア【関】 感想文
展開	3. 本時の学習内容を知る。	・食料自給率について学習することを伝える。 ・自分の生活を振り返りながら授業を受けるよう伝える。	
	4. 野菜の旬について考える。 「野菜の花当てクイズ」を通して、「旬」に気付き、野菜の旬と出回り状況について考える。	・野菜の花の写真を見せることで、生徒の興味を喚起する ・ゲームを通じて野菜の旬を知らせ、旬でないものが出回っている理由について考えさせ、発表させる。	
	5. 日本の食料自給率を知る。 日本の食料自給率の低さを知り、その原因を考える。	・グラフから、日本の食料自給率の低さを読み取らせる。 ・輸入がストップした場合の日本の食生活について具体例を挙げ、危機意識をもたせる。	規準ウ【知】 ワークシート
	6. 世界の食糧状況に目を向ける。	・ハンガーマップを配布し、気付いたことを発表させる。 ・飢餓で苦しむ国々の状況を伝え、自分の食生活について振り返らせる。	規準イ【思】 ワークシート
まとめ	7. 日本人の食生活の変遷を知る。	・「一汁三菜」について説明し、食の欧米化と食糧自給率の低下の関係性を説明する。 ・「地産地消」という言葉について説明する。	
	8. 本時の内容をまとめ、日本の食料自給率を上げるためにできることを考える。	・消費者の行動が市場を変えることを説明し、一人一人が行動することの大切さを理解させる。 ・自分にできることを考えさせる。	

6 補足資料・教材

- ・ハンガーマップ WFPより購入
- ・『世界と地球の困った現実』 日本国際飢餓対策機構編
- ・『フードクライシス 食が危ない!』 ディスカバー社編
- ・野菜の花の写真 「野菜の花図鑑」より作成 <http://www.cc9.ne.jp/~ssuto/yahanaframe.htm>
- ・DVD『いのちの食べかた』 監督ニコラウス・ゲイハルター 新日本映画社